九学通信

https://kyugaku.ed.jp/

“Strive to discipline yourself and be a helpful,caring person.”

Kyugaku Journal

(1) 2025年10月30日　　第143号

発行所／九州学院　〒862-8676 熊本市中央区大江5丁目2-1　TEL(096)364-6134　FAX(096)363-2576
発行人／室永芳久　編輯人／森真紀　印刷所／㈱河田印刷　熊本市南区近見8丁目5-105　TEL(096)353-1049

2025年度 年間聖句

あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。（マタイ5章16節）

Your light must shine before people. (Matthew 5:16a)

「昭和100年の夏に思うこと」

「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。」



－マタイによる福音書26章52節－

九州学院チャプレン　日笠山 吉之

今夏、日本はアジア太平洋戦争の敗戦から80年となりました。敗戦は、1945年（昭和20年）のこと。ですから、元号を昭和で換算すると今年はちょうど100年ということになります。私は高度成長期の真っただ中だった昭和39年の生まれですが、この半世紀以上は日本も平和な時代を過ごしてきました。先人たちの歩みのおかげです。しかし、ここにきてだんだんと雲行きが怪しくなってきたような気がします。軍事力に頼るのでなく、お互いの対話と信頼によってこれからも平和が続くことを心から望んでいます。

キリストを十字架につけるために捕らえにきた人々に対して、弟子たちは必死の抵抗を試みました。そのうちの一人は持っていた剣を抜いて、捕らえに来た人の片方の耳を切り落としたのです。キリストを守るための勇敢な行為だ、とほめられても良さそうです。しかし、キリストは言われました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」と。確かに、武力は束の間の勝利をもたらすかもしれません。しかし、力を盾に相手を屈服させる者（国）は、決して周りから信頼されず、結局は自滅の道を進んでしまうしかない。キリストは、そのことをはるか2000年前から私たちに教えてくださっているのです。

九州学院体育祭『竜騰虎闘』大盛況!

～創立100周年以来となる9月下旬開催～



クラブ行進・選手宣誓

9月27日㈯、九州学院グラウンドで「九州学院体育祭2025～竜騰虎闘～」が盛大に催されました。今回の体育祭においても企画と準備は生徒会役員と体育祭実行委員会の生徒が中心となって行われ、1学期中から何度も議論と試行錯誤を重ねて進められました。

実行委員会で決定した今回の体育祭のテーマは『竜騰虎闘』で、実力の拮抗する者どうしが全力を尽くして闘うことを意味する言葉であります。この体育祭にかける生徒たちの熱い思いが込められたテーマとなりました。

開会式では桑原宗大高校生徒会長と境野歌織中学校生徒会長が選手宣誓を声高らかに行いました。競技が開始すると放送部が実況で会場を盛り上げ、応援する生徒や保護者からも一段と大きな声援が送られていました。

今回の体育祭は、学院創立百周年であった2011年10月1日㈯以来となる9月下旬の実施日となりました。近年は9月上旬に体育祭を開催していましたが、この時期の平均気温の高さと熱中症対策を勘案して9月下旬に期日を変更しました。それでも残暑が厳しいことが予想されたことから、今回は育友会が提供する分に加え、学校側でも生徒たちに飲料を配給しました。また、育友会からは普段の熱中症対症として経口補水液も併せてご提供いただきました。深く感謝申し上げます。

午前・午後に行われた各競技では、出場選手と応援者が一体となる様子を幾度となく見ることができました。

今回の総合優勝は赤団でした。短い一日ではありましたが、この体育祭が生徒をはじめ学院内外の皆様に元気と勇気を伝えることができ、よき思い出として残るよう願います。

（2面に当日の様子の一部を掲載していますのでご覧ください。）

祝・日本一！ 4種目で全国優勝

小宮選手（中学剣道部）は団体・個人二冠達成！

○中学剣道部 全中大会 男子団体戦
○小宮尚通選手 全中大会 男子個人戦（剣道）
○中学弓道部 JOC 男子団体戦
○正木颯人選手 JOC 男子U17ケイリン

健闘！ 全国大会準優勝

○高校剣道部 玉竜旗 男子団体戦
○岩﨑太誠選手 高校総体 男子タイムトライアル







㊨ [全国中学校体育大会剣道競技（第55回全国中学校剣道大会）男子団体戦優勝（2連覇）]
（8月24日（日）於・早水公園体育文化センター体育館［都城市］）
㊥ [2025年 JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会　男子U17ケイリン優勝]
（7月20日（日）於・宮城県自転車競技場［大和町］）
㊧ [第22回全国中学生弓道大会・JOCジュニアオリンピックカップ大会　男子団体戦優勝]
（8月16日（土）於・全日本弓道連盟中央道場・明治神宮武道場　至誠館弓道場［渋谷区］）

院長室だより



院長　**中島 康文**

今年6月25日、私は院長就任式のために九学に参りました。校長室で説明を受けた後、院長室のキーを渡され案内していただきました。「こちらです」と教えられた場所は、1号館生徒昇降口（玄関）横の部屋でした。私は「良かった、生徒たちの声が聞こえる所で」と胸を撫でおろしました。奥まった場所では、出不精の私は部屋にこもりっきりになってしまう気がしていましたから。同時に、「何を求められているのだろうか、何ができるのだろうか」が全く分からず、五里霧中のなかでしたが、院長室の場所を通して、少し見えてきた気がしました、「生徒・教職員の皆さんに寄り添う働き」と。

私は1983年3月に日本ルーテル神学校を卒業し、同年4月より本年3月まで、日本福音ルーテル教会の牧師として勤めてまいりました。42年間に私が宣教に携わった地と年数は、福岡県北九州市黒崎で4年間、北海道帯広市で13年間、千葉県市川市で25年間です。市川市では、社会福祉法人千葉ベタニヤホーム（母子生活支援施設3施設・保育園2園）のチャプレンとして、また理事長としては16年間勤めました。学校法人での働きは経験しておりませんでしたので、それも私の不安要因のひとつでした。しかし法人格は異なっていても、「人と関わる務め」であることには違いがないことを、数か月過ごしながら感じています。

二学期が始まり、登下校時間には院長室の扉を開放しました。皆さんの元気な声を聞き笑顔を見て、私も元気になりたいからです。気軽に院長室を覗いてみてください。

最後になりましたが、九学で一番の新米です。どうぞ宜しくお願いします。

学校長あいさつ



中高校長　室永 芳久

平素より本学院の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、8月9日の豪雨において、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2025年度も早くも半分を過ぎようとしています（執筆時現在）。本年度も生徒さんたちは、元気いっぱいに学習活動、部活動に取り組んでおり、市中体連・県中体連、県総体・九州総体、文化部の各種大会でも、多くの生徒さんたちの活躍が見られました。また、中には全国大会に進出したチームや個人も多く、学院として心より嬉しく思っております。

二学期は、最も長い学期です。体育祭、九学祭、クリスマス関係行事等、多くの学校行事もあり、同時に、多くの部活動の大会もあります。さらに、一年生・二年生にとっては、その学年の学習が一層深まり、発展する時期でもあり、三年生にとっては、いよいよ受験に向けての最終段階です。そういう意味でも、学習、活動の両面で、しっかりとした目標をもち、悔いのない取り組みをしてほしいと願っています。

今年の夏は、昨年より更に輪をかけて暑くなりました。また、この暑さと同時に、思いもかけない集中豪雨等が起こるようになりました。学校においても、夏の暑さ対策は、体育の授業活動、部活動の両面において、対応しなければならない喫緊の課題となっております。幸いなことに、未だ重大な事案等の発生は免れておりますが、今後、着実に対策を進めていかなければならないと考えております。

これから学院は、次年度の準備の時期となってまいります。今後とも、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、スタッフ一同、しっかりと取り組んでまいる所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

中島康文・九州学院第11代院長就任式を挙行

6月25日㈬16時より九州学院3号館ホールにおいて、中島康文・九州学院第11代院長の就任式（礼拝）が日笠山吉之チャプレンの司式で執り行われました。

就任式の場面では、中島康文院長が「人々と協力して忠実にその職務を行い、福音宣教のわざに励むことを務め、神の助けによって責任を果たします」との誓いを全能の神と会衆（教職員ほか）の前でたてました。また、会衆も「主イエス・キリストによってわたしたちのために与えられた院長として中島康文牧師（※）を受け入れ、主にある愛と尊厳と従順をもって従うことを、神の助けによって約束いたします」との応答を行い、司式者が中島院長の正式な就任を厳かに宣言しました。





この就任式をもって院長（7月1日付就任）という重責を担って歩み出された中島牧師のうえに、神さまの恵みと祝福がますます豊かにありますようお祈りいたします。また、新体制で始動しました九州学院に、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

※付記：中島康文院長は本年3月末をもって日本福音ルーテル教会を定年退職（引退）いたしましたが、同年4月1日付で日本福音ルーテル荒尾教会および同大牟田教会の牧会を委嘱されており、牧師職も継続していますことから、今回の就任式において中島牧師という呼称を用いています。

夏期海外研修② 復活ルーテル教会（カリフォルニア州）

～7年ぶりに本校生徒の訪問団が現地での交流プログラムに参加～

7月27日㈰～8月8日㈮、高校生13人、中学生2人、引率教師2人の計17人がアメリカ合衆国カリフォルニア州ハンティントンビーチを訪れ、復活ルーテル教会（以下LCR）との交流プログラムに参加しました。生徒と教職員で編成するLCR訪問団派遣は2018年の夏季以来7年ぶり2回目となりました。







この国際交流は、九州学院教会からの歴史を有する日本福音ルーテル大江教会がLCRと姉妹教会であったことから、大江教会立野泰博牧師（当時）と九州学院関係者が2年間の準備を経て2018年に始動したものです。また、これまでにもLCRの訪日団が九州学院に何度も来校され、今回の交流プログラム実現に向けた礎を両者で構築してきました。

カリフォルニア滞在中、生徒たちはLCRが主催するバケーション・バイブル・スクールの手伝いをしました。その中で生徒たちは、折り紙の作り方を教えたりしながら、積極的に子どもたちとの交流を深めていきました。

今回の研修旅行の主軸はホストファミリーとの交流、そしてLCRユース世代と過ごす時間でした。いずれも英語でのコミュニケーションを行う力が求められますが、生徒たちは事前の準備に加えて現地での実践もあり、英語力が日毎に高まっていく様子がうかがえました。例えばLCRスタッフによる英語での講義が行われた際にも、生徒たちは内容を理解できていました。

講義では、アメリカ文化とキリスト教について学びを深めることができました。さらにLCRが「主なる神様に仕える者」として地域社会に出て行って奉仕する、とりわけホームレスの人々を支援することに注力していることを知り、自分たちがそれぞれ置かれた社会環境で何をすることができるのか考えるよい契機となりました。

日曜日にはLCRで執り行われる礼拝に参加しました。礼拝の中で生徒たちは日本語で讃美歌「慈しみ深き」を賛美しました。礼拝後にはLCRメンバーとパーティーを楽しむ時間を過ごしました。

交流で築かれた関係は続いていきます。来年はLCRユースが学院を訪れる予定です。

［引率教師 池田・服部］

夏期海外研修① 長栄大学（台南市）

～生徒・保護者による訪問団が現地を初訪問～

8月3日㈰～5日㈫の3日間、高校生15人と保護者1人、引率教師2人の計18人が台湾研修に参加しました。この研修は、昨年夏に台南市にある長栄大学とパートナーシップ協定を締結したことに基づき、今年度に初めて開催されたものです。

初日は、福岡空港から台湾桃園国際空港に入り、台湾北部の九份を訪れました。九份は、ノスタルジックな街並みが残る台湾屈指の観光地であり、ジブリアニメの「千と千尋の神隠し」のモデルとなったともいわれる場所です。生徒たちはレトロな建物を背景に写真を取ったり、出店で台湾グルメに舌鼓を打ったりと、台湾文化を大いに満喫していました。

二日目は、台湾高速鉄道で一路南下し、台南市にある長栄大学を訪問しました。長栄大学では、孫学長をはじめ多くの先生方の温かい歓迎を受けました。大学では中国語講座やキャンパス見学を通して、海外大学で学ぶ選択肢について考えることができました。その後、長栄大学の応用日本語学科の学生とともに台南市にある奇美博物館、日本統治時代の建物が残る林百貨店を訪れました。この日は台南市でも記録的な雨模様となり、夜市の体験はできませんでしたが、各自で地元ならではの夕食を楽しむひとときを過ごしました。

三日目は鉄路と空路で熊本に戻りました。台湾研修は次年度以降も夏に開催予定です。

［引率教師 松本・鉾之原秀］





合同進学相談会を開催

6月20日㈮午後に九州学院3号館ホールほかにおいて、進路指導部主催による合同進学相談会が自由移動方式により行われました。

今回も30を超える大学や短期大学、看護・医療系専門学校に参加（一部オンライン参加）いただき、約4時間にわたって概要説明や質疑応答などを丁寧にしていただきました。

高校生と保護者はそれぞれの進路選択の決断に向けて、真剣なまなざしで担当者の説明に傾聴し、積極的に質問を行っていました。



☆九州学院体育祭（9月27日㈯）☆［1面参照］



高校2年男子　騎馬戦



こども園児　ダンス



高校1･2年女子　ダンス



高校3年男子　棒倒し



高校3年女子　棒引き



中学校2年　大玉運び

九学同窓会だより

各地で盛んに同窓会
～東京でもんじゃ屋形船～



「2025大同窓会　総会・懇親会」（4月18日）の後、今年も東京九学会、関西九学会をはじめとする各支部や職域、各学年、各クラス、各部活等の同窓会が多数開かれています。

9月28日㈰には、「東京九学会もんじゃ屋形船」という楽しいイベントが行われました。新木場桟橋発着の元祖月島もんじゃ屋形船を貸し切って、もんじゃ焼を食べながら約2時間のお台場周遊を楽しむものです。この日はS3回～S67回の同窓生やそのご家族等40名（定員）が参加し大いに賑わいました。これからも同窓生が集まって旧交を温め明日への活力とするような機会が多くありますように。皆様のご協力を今後とも宜しくお願い致します。

各支部の同窓会懇親会活動

6月21日	大津九学会
6月28日	東京九学会
	関西九学会
	山鹿・植木九学会
	阿蘇中部九学会
7月　5日	苓北九学会
9月13日	八代九學会

「日本陸上選手権」5000メートルで優勝！



「第109回日本陸上競技選手権大会」（7月4日～6日・国立競技場）が開催され、井川龍人選手（旭化成／S71回・2019年卒）が男子5000メートルで初優勝を果たしました。

決勝戦では、序盤から18人が縦一列となり、ラスト勝負を得意とする井川選手は3番手をキープ。残り1000メートルで後続の仕掛けが始まると2位に浮上し、ラスト100メートルの最終コーナーで先頭に立つと優勝を確実なものとしました。計算通りに余裕のゴールインした井川選手は「完璧なレースが出来て嬉しい」と感無量でした。

「木造立体トラス工法」が再評価



葉祥栄氏

世界的な建築家・葉祥栄氏（J8回・1955年卒）が設計した作品が、この度、近代建築の記録調査や保存に携わる国際学術組織DOCOMOMO（ドコモモ）の日本支部によって「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されました。

「葉氏の建築思想と技術革新が結実した象徴的な作品」と評価された「小国町交通センター（道の駅小国ゆうステーション）」は、小国杉の角材を三角形に組み上げた「木造立体トラス構造」という新アイデアを実現し、コンピューターによる構造解析の導入など技術面で優れており、歴史的にも価値ある建物であることが高く評価されたものです。

全国警察剣道大会などで九学勢が大活躍



星子啓太氏

星子啓太氏（警視庁／S69回・2017年卒）は9月2日㈫に開かれた全国警察剣道選手権大会（於：日本武道館）に3度目（2連覇）の男子優勝を果たしました。また、真田裕行氏（神奈川県警／S66回・2014年卒）も3位に入賞、さらに樋田祐勢氏（熊本県警／S68回・2016年卒）もベスト8と九学OB勢が活躍をみせました。今大会は都道府県を代表する警察官選手、男女とも約100選手がエントリーし、トーナメント戦の時間無制限一本勝負で行なわれたものです。

さらに、8月31日㈰に行われた熊本県剣道選手権で西村英久氏（熊本県警／S59回・2007年卒）が8度目の優勝を飾りました。

11月3日（月・祝）の全日本剣道選手権の九学OB勢の活躍が多いに期待されます。



西村英久氏

来年公開予定映画「温泉シャーク2」に出演

俳優勝野洋氏（S20回・1968年卒）とアクション映画「温泉シャーク2　九州大決戦（仮）」のロケが、6月上旬に二人の故郷である小国町の杖立温泉を中心にその一帯で行われました。

この映画は、よみがえった古代の人食いザメが温泉客を次々と襲うという恐怖映画で、昨年2024年に公開された、熱海市が舞台の「温泉シャーク1」の第二弾となっており、来年2026年に公開が予定されています。



勝野洋氏

お二人の熱演が大いに期待されるところです。是非ご覧下さい。



杉本青空氏

「祭九学会」OGも活躍
～総勢約二百人の参加者～

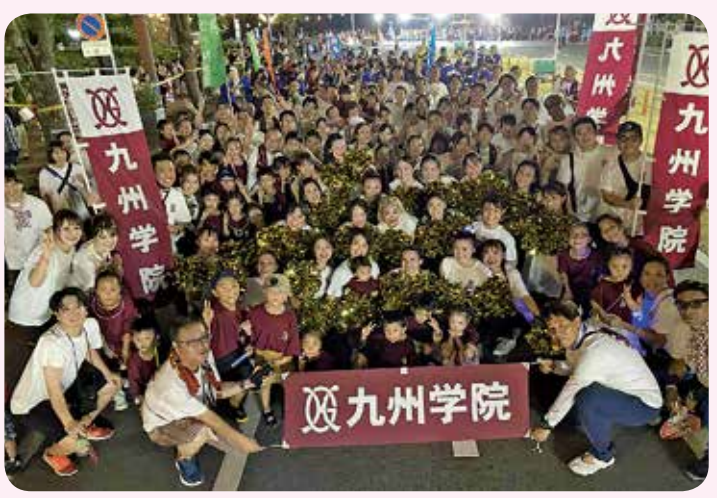
熊本に秋の訪れを告げる市民の祭り「藤崎八旛宮秋季例大祭」の神幸行列が9月21日㈰に行われました。九州学院同窓生の「九学会」は今年も「神幸行列」に参加しましたが、19日の飾馬の際に飾馬が警備の制止を振り切り一般道へ飛び出した際に車との接触事故を起こしました。皆様に大変なご心配とご迷惑をお掛け致しました事を深くお詫び申し上げます。神幸行列では今年は飾馬を出す事は控えましたが、実行委員（S53回・2001年卒）の有志の尽力により集められた総勢約200名の参加者は、威勢よく声を上げて踊りながら熊本市の中心地を練り歩きました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。（九学会 実行委員会会長 川村 祥記）



第48回火の国まつり「おてもやん総おどり」に初出場

今や熊本の夏の風物詩となった「火の国まつり」の中日の8月2日㈯、メインイベント「おてもやん総おどり」が市の中心街で行われ、職場や学校など55団体の約4800人が軽快なリズムの「サンバおてもやん」等に合わせ夜の街中を踊り歩きました。今回初出場の九州学院同窓会は、「世代を超えた交流を通しての結束」をスローガンに、中学・高校の卒業生を母体に現役の生徒・教職員、付属のみどり幼稚園児とその保護者ら総勢100人以上で参加しました。先頭には九学チアダンス部のOG約20人が金色のポンポンを持ち、この日のために考案した振り付けでダンスを披露しながら九学チーム全体をリードしました。なお、このイベントのために東京や遠方から同部OGがかけつけ結束したことで「チアダンス部OGチーム」が新たに結成されたことは嬉しいニュースです。

関東在住パリコレデザイナーの田山淳朗氏（S25回・1973年卒）をはじめ、参加された皆様には本当にお疲れ様でした。同窓会女子部会「リディア会」の皆さんのお力添えのお陰で今回のイベント参加が成功裏に終わったことは実に有難いことです。今後も九学ファミリーの世代を超えた繋がりを大切に、熊本を元気に盛り上げましょう。



IOCから「五輪オーダー」山下泰裕JOC前会長に授与



国際オリンピック委員会（IOC）は、五輪運動で功績のあった人物をたたえる「五輪オーダー」（功労章）を山下泰裕氏（S28回・1976年名誉卒業）に授与することを決定しました。山下氏は2019年に日本オリンピック委員会（JOC）会長に就任、2021年には新型コロナウイルス禍で開催が危惧された東京五輪の大会実現に尽力するなどの業績を残し、6月26日に3期6年務めた同会長を退任しました。

山下氏は熊本市立藤園中から1973年に九州学院高に入学しましたが、高校2年生の夏に諸事情により東海大付属相模高校に転編入しました。しかしながら、本人の九学への強い愛校心に同窓会の推薦もあり2007年に第一号の名誉卒業生（S28回）として正式に認められ九州学院から「名誉卒業証書」が手渡されました。

現役時代には1984年ロサンゼルス五輪の柔道男子無差別級の優勝をはじめ、全日本選手権9連覇、1985年6月の引退から逆算して203連勝（引き分け含む）など実に数多くの大記録を樹立し、1984年10月には国民栄誉賞を授与されました。引退後も指導者として内外の柔道界のために尽力、JOC会長の他多くの役職に就きスポーツ界全体に大きな貢献を果たして来ました。この度の名誉ある「五輪オーダー」（功労章）の受賞は同窓会にとっても誠に大きな慶びであります。

九学同窓会HPはこちらから



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏（S24回）の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏（S43回）が拉致被害者家族会で活動中。

「九学同窓会だより」
編纂人・小手川勲

歓迎！イマニュエル・カレッジ

～授業・行事などで生徒・教職員が交流～

九州学院と姉妹校関係（1990年締約）にありますオーストラリアのイマニュエル・カレッジからの訪問団が9月21日㈰～28日㈰に来熊され、生徒や教職員、ホストファミリーと交流を深めました。22日㈪朝礼後に3号館ホールで訪問団の紹介が行われ、その後は武道、芸術等の授業に参加しました。授業では英語と日本語によるコミュニケーションを通して相互理解を深め、剣道や書道の授業では実体験による貴重な学びを得ました。







滞在期間中が体育祭（9月27日㈯）の練習と本番が重なったことで例年の国際交流では披露する機会が少ない九州学院の楽しい全校行事にも参観していただくことができました。

27日㈯夕方には3号館ホールにおいて、イマニュエル・カレッジの生徒による司会進行で交流会が開催され、両校の生徒・教職員とホストファミリーが参加して大盛況でした。なお、この会には別途実施中であった九州ルーテル学院への訪問団と、そのホストファミリーも参加しました。

交流会ではホスト校代表者挨拶、懇親を深める軽食に続き、イマニュエル・カレッジ生徒が準備した企画（学校とオーストラリアの紹介・クイズ）が行われ、日本で過ごす最後の夜のひとときを一緒に楽しんでいました。

28日㈪朝に訪問団一行は出発しました。見送りに駆けつけた学院関係者一同は別れを惜しみつつ、旅程が守られ、これからの交流をさらに深めていけるよう祈っていました。

次年度は九州学院の生徒がイマニュエル・カレッジを訪れます。

本田さん（高2）が独舞女子の部で最優秀賞！

～九州高等学校吟詠剣詩舞コンクール～

7月19日㈯、大分市にあります明日香美容文化専門大学校において、第29回九州高等学校吟詠剣詩舞コンクールが開催され、本田すみれさん（高2）が独舞女子の部で最優秀賞を受賞しました。剣詩舞は剣舞と詩舞という2つの舞踊があり、いずれも吟詠に合わせて舞う芸道で、古武道の格式と、詩の心を表す芸術性をあわせもつ舞であります。［出典：公益財団法人日本吟詠剣詩舞振興会HP］



本田さんは九州学院中高在学中に開催された、令和5年度および令和6年度の全国剣詩舞コンクール決勝大会（詩舞・少年の部）に出場した実績を有する実力者です。今大会でも練習で培ってきた技量を存分に発揮して最優秀賞の栄冠に輝くことができました。日本の伝統芸能の一つである詩舞を、扇を用いて優美に表現することに邁進する本田さん。今後ますますの活躍が期待されています。

高校説明会を県立劇場で開催

～約1400人の参加者が集う～

8月20日㈬13時より熊本県立劇場コンサートホールで九州学院高等学校説明会を開催しました。会場には中学3年生とその保護者合わせて約1400人の来場者がありました。







本校の学校説明会における特徴のひとつが生徒主体のプログラムです。司会進行の放送部をはじめ、吹奏楽部（歓迎演奏）、ESS（英会話デモンストレーション）、空手道部・ボクシング部（演武）、チアダンス部（受験生応援ダンス）、ボランティア部（案内や補助など）が出演や運営に携わりました。また、クラス（プログレス・アドバンス・アスリート）説明を生徒代表が、学校行事紹介を生徒会役員代表が行っており、現役生による実演や説明を通して、本校の雰囲気や魅力を伝えることができたことと思います。

教職員側では、学院の基盤であるキリスト教教育の説明、聖書朗読と祈祷を日笠山吉之チャプレンが、進路実績・クラス編成・英語検定・キャリア教育講座の説明を松本郁進路指導部長が、入試概要の説明を細野英彦生徒募集対策部長がそれぞれ行い、学校長挨拶として室永芳久校長が参加者に向けて歓迎と激励の言葉を送りました。

なお、11月8日㈯に九州学院高等学校2026年度入試説明会を本校で開催予定です。

河井さん（高3）がJAXA特別学習に参加！

～最先端の航空技術研究現場で学ぶ～

宇宙航空研究開発機構（JAXA）が高校生を対象に毎年実施している「エアロスペースクール2025」に河井海翔さん（高3）が選考会を通過して参加しました。河井さんが参加したプログラムはJAXA調布航空宇宙センターで7月30日㈬～8月1日㈮に開催された、航空技術研究を主題としたものです。



河井さんを含む全国から参加した20人の高校生は、空気力学や飛行技術などの講義を受けたり、数値流体解析技術や風洞技術を体験したりしました。その他にも機体騒音低減技術や構造・材料技術などの学びでは学習した内容に基づいて各自が深めたことを発表する機会も持たれました。

航空技術研究の最前線での学びは、有意義なものとなりました。

第12回 ブラウン・メモリアル・コンサート 開催の御礼（高等学校吹奏楽部一同より）

6月15日㈰14時から本校3号館3階多目的ホールで開催しました「第12回ブラウンメモリアルコンサート」（九州学院高校吹奏楽部定期演奏会）に、多くの皆さまにご来場いただきまして、誠にありがとうございました。当日は朝から曇天で、終演時刻には土砂降りと天候に恵まれない中、200名超のお客様にご来場いただいて開催できましたこと、たいへん喜んでおります。

本番では多くのハプニングはありながらも準備・練習してきたことを十分に発揮でき、お客様にも楽しんでいただけたと思います。3年生を中心に一生懸命準備しながら、1・2年生も含めた部員どうしの協力が深まり、皆で1つのことをやり遂げた喜びを得ることができました。この演奏会を通してたいへん多くのものをいただくことができたこと、ご関係のすべての皆様に深く感謝しています。本当にありがとうございました。



2026年度入試情報（中学校）

●奨学生（A・B・C）［入試日：2025年12月6日㈯］
【試験教科】国語・算数（各100点）、社会・理科（各50点）・面接
【特典】
奨学生A…入学時納入金110,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を相殺支給する。特に優秀な若干名には九州学院ナルドの壷基金より月額10,000円（自宅外生は月額20,000円）を授与する。
奨学生B…入学時納入金のうち、50,000円を免除する。
奨学生C…入学時納入金のうち、20,000円を免除する。

●専願生［入試日：2025年12月6日㈯］
【試験教科】国語・算数（各100点）、社会・理科（各50点）・面接
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。

●一般生［入試日：2026年1月10日㈯］
【試験教科】国語・算数（各100点）、社会・理科（各50点）・面接

【中高入試は「WEB出願（要事前登録）」となります】

《中学校》
○奨学生・専願生
WEB出願　2025年10月20日㈪～ 11月25日㈫
書類提出［郵送］　2025年11月19日㈬～ 11月27日㈭
○一般生
WEB出願　2025年10月20日㈪～ 2026年1月5日㈪
書類提出［郵送］　2025年12月16日㈫～ 2026年1月7日㈬
《高等学校》
○奨学生・専願生
WEB出願　2025年12月1日㈪～ 2026年1月8日㈭
書類提出　2026年1月8日㈭～ 1月15日㈭
○一般生
WEB出願　2025年12月1日㈪～ 2026年2月4日㈬
書類提出　2026年2月4日㈬～2月6日㈮

入試情報の詳細は必ず「生徒募集要項」をご確認ください。

2026年度入試情報（高等学校）

●奨学生（A・B・C）［入試日：2026年1月21日㈬］
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）
【特典】
奨学生A…入学時納入金110,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を相殺支給する。特に優秀な若干名には九州学院ナルドの壷基金より月額10,000円（自宅外生は月額20,000円）を授与する。
奨学生B…入学時納入金のうち、50,000円を免除する。
奨学生C…入学時納入金のうち、20,000円を免除する。
【備考】奨学生A・B・C合格者は、「プログレス クラス」、「アドバンス クラス」両方の資格を有しており、新入生登校日にどちらのクラスに入るか選択する。

●専願生［入試日：2026年1月21日㈬］
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。

●専願生（アスリートクラス推薦）［入試日：2026年1月21日㈬］
※次の指定13競技の体育活動推薦。男子のみ受験可。
野球・空手道・陸上・水泳・柔道・剣道・ラグビー・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・バドミントン・自転車・ボクシング
※中学時代の競技活動を証明する「スポーツ競技歴調書」を調査書と併せて提出すること。
【試験教科】国語・数学・英語（リスニング含む）・グループ面接
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。
【備考】合格者はアスリート クラス所属となる。
※野球部は1月実施の入試に合格した者のみ入部可。

●一般生［入試日：2026年2月13日㈮］
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）

中高・新生徒会役員が決定！

9月30日㈫、高等学校および中学校の新生徒会役員選挙立候補者による立会演説会が中高各選挙管理委員会主催で開催されました。

熱い気持ちが込められた全候補者の演説終了後に投票が1・2年生の各教室で行われ、即日開票されました。

○高等学校新役員○
会　長：川上　一真（2年）
副会長：溝見百々子（2年）
書　記：片岡　らん（2年）
書　記：的場　優香（1年）
会　計：西谷　祐輝（2年）
会　計：永松　珠莉（1年）



確定した開票結果をうけて新生徒会役員の認証が室永芳久校長によって行われ、正式に新体制での運営がスタートしました。なお、新役員の任期は2025年10月1日㈬から2026年9月30日㈬までとなります。宜しくお願いします。

○中学校新役員○
会　長：宮崎　真徳（2年）
副会長：永野　陽仁（2年）
書記会計：濵田　花瑚（2年）
書記会計：岩川　莉久（2年）
書記会計：本田　悠鷹（1年）
書記会計：原田　もも（1年）



日韓中ハンドボール競技会日本代表で活躍！
神尾啓太選手（3年）・杉野龍騎選手（3年）

8月23日㈯から29日㈮にかけて、中国の内モンゴル自治区において第33回日・韓・中ジュニア交流競技会が開催されました。今大会は11競技が行われ、その1つであるハンドボールの男子日本代表選手に神尾啓太選手（3年）と杉野龍騎選手（3年）が選出され、試合でも活躍しました。神尾選手はゴールキーパー、杉野選手はレフトバック（エースアタッカー）に登録され、2人が日本代表チームの攻守の要として高く評価された選出であります。



この大会は東アジア諸国との青少年スポーツ交流を促進し、これを通じて相互理解を深め、競技力向上に資するため毎年実施されています。日本選手団は国内の競技大会で好成績を収めているトップレベルの選手を中心として編成されており、本校から2選手が選出されたことはハンドボール部、学院として誇りとするところです。

日本国内での強化合宿を経て代表チームは現地入りし、25日㈫に中国代表と、26日㈬に韓国代表と、27日㈬に内モンゴル自治区選抜（開催地代表）とそれぞれ試合を行いました。

今回の代表入り、国際大会出場の経験は2人、そして後輩たちのさらなる成長と飛躍に繋がることでしょう。

（中学校）学友会活動成績
（5月7日～8月31日）

弓道部

第52回熊本県中学生弓道大会（6月8日）〈熊本市植木弓道場〉
▽男子団体　1位
▽男子個人
1位　清　充寿（3年）

熊本市中学校総合体育大会（6月21日）〈熊本市植木弓道場〉
▽男子団体　1位
▽女子団体　2位
▽男子個人学校代表の部
1位　清　充寿（3年）
2位　秋元　悠希（3年）
3位　荒尾　奈音（3年）
▽男子個人2年生以下の部
3位　河村　鴻虎（2年）

熊本県中学校総合体育大会（7月12日）〈荒尾運動公園弓道場〉
▽男子団体　2位
▽女子団体　3位
▽男子個人学校代表の部
1位　荒尾　奈音（3年）
▽男子個人
1位　清　充寿（3年）
2位　秋元　悠希（3年）
3位　荒尾　奈音（3年）
▽男子個人2年生以下の部
3位　河村　鴻虎（2年）

熊本県中学生弓道大会（8月16・17日）〈明治神宮至誠館〉
▽男子団体　1位
▽女子団体　ベスト16
▽男子個人
5位　清　充寿（3年）

第22回全国中学生弓道大会（8月16・17日）〈明治神宮至誠館〉
▽男子団体　2位
▽女子団体　3位
▽男子個人学校代表の部
1位　荒尾　奈音（3年）
▽女子個人学校代表の部
1位　安達　景音（3年）
▽男子個人2年生以下の部
2位　河村　鴻虎（2年）

第46回九州中学生弓道大会（8月3日）〈久留米総合スポーツセンター弓道場〉
▽男子団体　1位
▽男子個人
2位　清　充寿（3年）

第22回全国中学生弓道大会（8月16・17日）〈明治神宮至誠館〉
▽男子団体　1位
▽女子団体　ベスト16
▽男子個人
5位　清　充寿（3年）

柔道部

熊本県中学校総合体育大会（7月20・21日）〈山鹿市総合体育館〉
▽男子団体　1位
▽女子団体　3位
【男子個人】
▽60kg級
3位　井戸太智郎（3年）
▽90kg級
3位　前田　就重（2年）
▽90kg超級
1位　北村　宙大（3年）
2位　福嶋　左宥（2年）
【女子個人】
▽52kg級
1位　石橋　莉乃（3年）
▽57kg級
1位　藤井　優花（3年）

九州中学校体育大会（8月8・9日）〈SAGAサンライズパーク〉
▽男子団体　3位
【男子個人】
▽90kg超級
3位　北村　宙大（3年）
【女子個人】
▽52kg級
1位　石橋　莉乃（3年）
▽57kg級
1位　藤井　優花（3年）

剣道部

第50回熊本県剣道道場連盟少年剣道錬成大会兼第59回全国道場少年剣道大会熊本県予選（6月7日）〈合志市総合体育館〉
▽団体の部
1位（九学道場）
2位（九好会）

第22回熊本県中学生剣道優勝大会（6月8日）〈人吉スポーツパレス〉
▽団体の部　1位

熊本市中学校総合体育大会（6月25・26日）〈城南総合スポーツセンター〉
▽団体の部　2位
▽個人代表の部
1位　小宮　尚通（3年）
▽個人2年の部
3位　平川　航成（2年）
▽個人1年の部
1位　田之上剣大（1年）
2位　福島　颯希（1年）

第49回全国道場少年剣道選手権大会　熊本県予選会（7月5日）〈合志市総合体育館〉
▽中学生男子の部
1位　北川　大地（3年）
3位　中司　健太（3年）
3位　小宮　尚通（3年）

熊本県中学校総合体育大会（7月22・23日）〈山鹿市総合体育館〉
▽団体の部　1位
▽個人の部
1位　小宮　尚通（3年）
▽個人2年の部
3位　平川　航成（2年）
▽個人1年の部
1位　田之上剣大（1年）
2位　福島　颯希（1年）

水泳部

第46回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月1日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】（13歳～中学3年）
▽200m自由形
2位　木村　由聖（2年）
▽400m自由形
3位　木村　由聖（2年）
▽50m平泳ぎ
2位　坂井　皇太（2年）
▽100m平泳ぎ
1位　坂井　皇太（2年）
▽200m平泳ぎ
1位　坂井　皇太（2年）
▽200mバタフライ
3位　北村　宙大（3年）
【女子】（13歳～中学3年）
▽200m自由形
6位　木村　由聖（2年）
▽400m自由形
4位　木村　由聖（2年）
▽100m平泳ぎ
2位　坂井　皇太（2年）
▽200m平泳ぎ
2位　坂井　皇太（2年）
▽200m自由形
2位　津志田乃瑛（2年）
▽400m自由形
1位　津志田乃瑛（2年）

第35回熊本県中学校水泳競技大会（6月14・15日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽200m自由形
6位　木村　由聖（2年）
▽400m自由形
4位　木村　由聖（2年）
▽100m平泳ぎ
2位　坂井　皇太（2年）
▽200m平泳ぎ
2位　坂井　皇太（2年）
【女子】
▽200m自由形
2位　津志田乃瑛（2年）
▽400m自由形
1位　津志田乃瑛（2年）

熊本県中学校総合体育大会（7月19・20日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽400m自由形
8位　金倉　虎珀（3年）
▽100mバタフライ
3位　木村　由聖（2年）

熊本県選手権水泳競技大会兼国民スポーツ大会予選会（6月28・29日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽1500m自由形
8位　木村　由聖（2年）
▽200m平泳ぎ
4位　坂井　皇太（2年）
【女子】
▽400m自由形
7位　津志田乃瑛（2年）
▽800m自由形
4位　津志田乃瑛（2年）

熊本県中学校総合体育大会（7月25・26日）〈菊池市総合体育館〉
▽1・2年生女子個人組手
2位　尾上　瑠希（1年）

熊本市中学校総合体育大会（6月22日）〈文徳高校・中学体育館〉
▽男子団体組手　2位
▽女子団体組手　4位
【男子】
▽個人形
5位　下村　大惺（2年）
▽代表個人組手
7位　下村　大惺（2年）
8位　長松　蓮（3年）
▽1・2年個人組手
2位　江頭　禾惟（1年）
【女子】
▽個人形
3位　神山　雅泉（2年）
▽代表個人組手
1位　日吉　聖空（3年）
3位　神山　雅泉（2年）

熊本県中学校総合体育大会（7月13日）〈菊陽町総合体育館〉
▽女子団体組手　4位

空手道部

第36回熊本県中学生空手道大会（5月25日）〈菊池市総合体育館〉
▽1・2年生女子個人組手
2位　尾上　瑠希（1年）

第52回熊本県中学生学年別水泳競技大会（8月16・17日）〈荒尾運動公園市民プール〉
▽男子（3年）400m自由形
8位　金倉　虎珀（3年）

ボクシング

第12回全日本Uボクシング王座決定戦（8月3～5日）〈兵庫県立武道館〉
▽女子51kg級
1位　江村　明音（3年）

九中コーナー

白熱の水泳大会

7月10日㈭に本年度も全3学年で中学校水泳大会を実施しました。中には水泳が苦手な生徒もいましたが、温かい声援の中出場した全員が一生懸命泳ぎ切ることができました。この水泳大会は全学年でのクラスマッチ形式となっており、最後のクラス対抗リレーは応援合戦も見どころの一つでした。

屋内プールにはそれぞれのクラスを鼓舞する声が響き渡り、九中らしい団結力をみることができました。最後の結果発表も大いに盛り上がり、歓声とため息が入り混じる中、担任の先生方も一緒になってクラスの生徒のがんばりを称えていました。生徒たちにとっても1学期最後のいい思い出となったことと思います。

本年度もオープンスクール大盛況

7月26日㈯小学校5、6年生を対象としたオープンスクールを実施しました。今年度は昨年より20組多い180組の参加を受け付けました。

参加者は礼拝後に、各クラスに分かれて15分ずつ5教科の模擬授業を受け、その後学校見学を行いました。

国語は「言葉について」、社会は「社会科クイズ九さま!!」、数学は「算数から数学へ」、理科は「科学の不思議」、英語は「英語でインタビューをしよう」と題して授業を実施しました。

最初は緊張した面持ちだった小学生の参加者のみなさんも、徐々に慣れて積極的に楽しく授業に取り組んでいる姿が印象的でした。

中学校では次年度夏もオープンスクールを実施予定です。九中の授業を実際の教室で体験できる貴重な機会です。皆さんの参加を職員一同心からお待ちしています。

あしきた青少年の家にてキャンプを実施

9月11日㈭～12日㈮、1泊2日で葦北郡にある「熊本県立あしきた青少年の家」で全校キャンプを行いました。昨年度は長崎県の諫早での実施でしたが、今年度は初の葦北での実施となりました。また、今年度のキャンプは学年を越えた縦割り活動も取り入れ、体育祭を前に赤団、白団、青団に分かれて競い合う場面も多くありました。

初日は到着後、団ごとに校歌の歌合戦を行い、心を一つにしました。午後からはペーロンと呼ばれる船に乗り込みマリン活動を楽しみました。息をそろえて声を掛け合いながらオールを一生懸命漕ぐ姿が印象的でした。

2日目は学年ごとにウォークラリーを行い、各所に設置されたチェックポイントを探しながら点数を競いあいました。頭と体力を使って全員時間内に戻ってくることができました。

今回のキャンプでは葦北の大自然の中でボート体験など普段の学校生活ではなかなかできない貴重な体験をすることができました。また、クラスメイトとの共同生活を通して自主性や協調性、仲間と協力することの大切さを学ぶよい機会となったことと思います。



学友会活動成績
（5月7日～8月31日）

柔道部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日～6月1日）〈山鹿市総合体育館〉
▽男子団体　2位
▽女子団体　2位
【男子個人】
▽60kg級　3位　堀　太雅（3年）
▽66kg級　3位　長木　賢人（3年）
▽73kg級　3位　横山　龍太（3年）
▽81kg級　3位　南波　真樹（3年）
▽90kg級　2位　浅川　恵辰（3年）
▽100kg級　1位　東　大遼（2年）
　2位　前田　禄信（3年）
▽100kg超級　1位　高倉　菖悟（3年）
【女子個人】
▽48kg級　2位　野住はるか（2年）
▽52kg級　2位　赤星　凛咲（3年）
▽63kg級　1位　石橋　菜々（2年）
▽78kg級　2位　鳥飼　紅葉（3年）

全九州高校体育大会（6月21・22日）〈大分県クラサス武道スポーツセンター〉
▽男子団体　ベスト8
▽女子団体　出場
【男子個人】
▽100kg級　出場　東　大遼（2年）
　3位　前田　禄信（3年）
▽100kg超級　3位　高倉　菖悟（3年）
【女子個人】
▽48kg級　出場　野住はるか（2年）
▽52kg級　出場　赤星　凛咲（3年）
▽63kg級　出場　石橋　菜々（2年）
▽78kg級　出場　鳥飼　紅葉（3年）

金鷲旗高校柔道大会〈福岡市照葉積水ハウスアリーナ〉（7月22～24日）
▽男子団体　2回戦敗退
▽女子団体　2回戦敗退

全国高等学校総合体育大会（8月15～17日）〈ジップアリーナ岡山〉
▽男子個人100kg級　出場　東　大遼（2年）
▽男子個人100kg超級　出場　高倉　菖悟（3年）

剣道部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30・31日）〈菊陽町総合体育館〉
▽個人の部　1位　島村　昇冴（3年）
　3位　中村文次郎（3年）
▽団体の部　1位

水泳部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30・31日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽総合　1位　50m自由形　1位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　1位　福味　昂一（3年）
　2位　松永　蒼生（3年）
　3位　藤本　拓真（2年）
　4位　坂井　優日（2年）
▽200m自由形　2位　藤原　琉誠（3年）
　3位　藤本　拓真（2年）
　7位　古屋心太朗（2年）
▽400m自由形　2位　森本　将嗣（3年）
　3位　福田　悠雅（1年）
　6位　古屋心太朗（2年）
▽1500m自由形　1位　森本　将嗣（3年）
　2位　松島　瑞（2年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽100m平泳ぎ　8位　坂井　優日（2年）
▽200m平泳ぎ　4位　坂井　優日（2年）
▽100mバタフライ　1位　林田　陽音（3年）
　3位　中村　英太（2年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
　4位　中村　英太（2年）
▽200m個人メドレー　6位　古屋心太朗（2年）
【女子】
▽50m自由形　2位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　2位　藤本　拓真（2年）
　4位　藤本　琉偉（3年）
▽200m自由形　2位　藤原　琉誠（3年）
　3位　藤本　拓真（2年）
　7位　古屋心太朗（2年）
▽400m自由形　2位　森本　琉偉（2年）
▽1500m自由形　1位　森本　将嗣（3年）
　2位　松島　瑞（2年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽100m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
　4位　中村　英太（2年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
　4位　中村　英太（2年）
▽100m平泳ぎ　3位　林田　陽音（3年）
　4位　内田　匠（2年）
▽200m平泳ぎ　4位　坂井　優日（2年）
▽100mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
　2位　藤本　琉偉（2年）
▽200mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
　2位　藤本　琉偉（2年）
▽200m個人メドレー　1位　松永　蒼生（3年）
　2位　藤本　琉偉（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　福味・藤原・内田・藤本（2年）
▽メドレーリレー4×100m　2位　林田・松島・松永・藤原

第46回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月1日）〈アクアドームくまもと〉
▽200m背泳ぎ　1位　中村　英太（2年）
▽100m平泳ぎ　2位　坂井　優日（2年）
▽50mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200m個人メドレー　1位　奥村レ・鳥井・奥村柚・中村
▽フリーリレー4×200m　1位　奥村レ・鳥井・奥村柚・中村
▽メドレーリレー4×100m　1位　石川・大田・中村・奥村

熊本県選手権水泳競技大会兼国民スポーツ大会予選会（6月28・29日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽50m自由形　2位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　2位　藤本　拓真（2年）
　4位　藤原　琉誠（3年）
▽200m自由形　2位　松永　蒼生（3年）
▽400m自由形　1位　福田　悠雅（1年）
▽1500m自由形　1位　福田　悠雅（1年）
▽100m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
▽100m平泳ぎ　1位　福田　悠雅（1年）
▽200m平泳ぎ　1位　中村　英太（2年）
▽100mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200m個人メドレー　1位　林田　陽音（3年）
▽フリーリレー4×200m　1位　藤原・藤本・内田・福味
▽メドレーリレー4×100m　1位　藤本・藤原・内田・福味

第46回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月1日）〈アクアドームくまもと〉
▽200m背泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽100m平泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　中村・鳥井・奥村レ・奥村柚
▽フリーリレー4×200m　1位　奥村レ・鳥井・奥村柚・中村
▽メドレーリレー4×100m　1位　石川・大田・中村・奥村

熊本県選手権水泳競技大会兼国民スポーツ大会予選会（6月28・29日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽50m自由形　2位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　2位　藤本　拓真（2年）
　4位　藤原　琉誠（3年）

弓道部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日・6月1日）〈菊池市総合体育館〉
▽男子団体組手　2位
▽女子団体組手　2位
▽男子個人形　1位　小田　倖成（3年）
　3位　下村　大翔（2年）
▽男子個人組手　1位

全九州高等学校体育大会（6月14～15日）〈八代市弓道場〉
▽男子団体　3位
▽女子団体　4位
▽女子個人　2位　林田　稟音（3年）

全国高等学校総合体育大会（7月31日）〈鳥取県立武道館〉
▽女子個人　出場　林田　稟音（3年）

空手道部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日～6月1日）〈菊池市総合体育館〉
▽団体の部　2位
▽男子団体組手　2位
▽女子団体組手　2位
▽男子個人形　1位　小田　倖成（3年）
　3位　下村　大翔（2年）
▽男子個人組手　1位

玉竜旗高校剣道大会〈福岡市照葉積水ハウスアリーナ〉（7月27～29日）
▽団体の部　2位

全九州高校体育大会（7月5・6日）〈宮崎県ひなた武道館〉
▽団体の部　2位

玉竜旗高校剣道大会〈福岡市照葉積水ハウスアリーナ〉（7月27～29日）
▽団体の部　2位

全九州高等学校体育大会（6月6日～9日）〈佐賀県武雄競輪場〉
▽4kmチームパーシュート　1位　岩﨑・大無田・井上・興梠
▽スプリント　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽1kmタイムトライアル　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽女子1kmタイムトライアル　1位　安達　心晴（3年）
▽女子3kmインディヴィデュアルパーシュート　1位　安達　心晴（3年）
▽女子ロードレース　1位　安達　心晴（3年）
▽女子ポイントレース　1位　安達　心晴（3年）
▽女子スプリント　1位　安達　心晴（3年）
▽ケイリン　1位　安達　心晴（3年）

全九州高等学校体育大会（6月14～16日）〈那覇市奥武山弓道場〉
▽男子団体　3位
▽女子団体　4位

全国高等学校総合体育大会（7月31日）〈鳥取県立武道館〉

水泳部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30・31日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽総合　1位
▽50m自由形　1位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　1位　福味　昂一（3年）
　2位　森本　将嗣（3年）
　3位　福田　悠雅（1年）
　6位　古屋心太朗（2年）
▽400m自由形　2位　森本　将嗣（3年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽1500m自由形　1位　森本　将嗣（3年）
　2位　松島　瑞（2年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽100m平泳ぎ　8位　坂井　優日（2年）
▽200m平泳ぎ　4位　坂井　優日（2年）
▽100mバタフライ　1位　林田　陽音（3年）
　3位　中村　英太（2年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
　4位　中村　英太（2年）
▽200m個人メドレー　6位　古屋心太朗（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　福味・藤原・内田・藤本（2年）
▽メドレーリレー4×100m　2位　林田・松島・松永・藤原

第46回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月1日）〈アクアドームくまもと〉
▽200m背泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽100m平泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　中村ひかり・奥村・大田・朱莉
▽フリーリレー4×200m　1位　中村ひかり・奥村・大田・朱莉
▽100m背泳ぎ　7位　中村ひかり（3年）
▽200m背泳ぎ　6位　中村ひかり（3年）
▽100m平泳ぎ　6位　大石　桜（1年）

熊本県選手権水泳競技大会兼国民スポーツ大会予選会（6月28・29日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽50m自由形　2位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　2位　藤本　拓真（2年）
　4位　藤原　琉誠（3年）

陸上競技部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日～6月2日）〈えがお健康スタジアム〉
【男子】
▽100m　3位　藤本　晴斗（3年）
▽200m　2位　中野　亜美（3年）
　6位　入江　璃旺（2年）
▽1500m　3位　田中　允紳（2年）
▽5000m　2位　坂井咲太郎（3年）
　3位　久保　和寛（2年）
▽3000mSC　2位　新立　峻（3年）
　6位　中川　陽琉（3年）
▽4×100mR　入江・藤本・吉良・城戸
▽4×400mR　吉良・藤本・南條・入江
▽学校対抗総合の部　4位
▽学校対抗トラックの部　1位
【女子】
▽100m　3位　大石　桜（1年）
　5位　中野　亜美（3年）
▽200m　2位　中野　亜美（3年）
　6位　大石　桜（1年）
▽400mR　朱莉（3年）
　5位　功能　久武　咲月（3年）
▽800m　4位　岡村　空（2年）
▽100mH　1位　角　百々花（3年）
　4位　岩本実乃里（1年）
　6位　植野紗代子（2年）
▽4×400mR　植野紗代子（2年）
　2位　松永　蒼生（3年）
▽4×100mR　1位　角・中野・大石・功能
▽走幅跳　4位　岩本実乃里（1年）
▽100m車椅子　1位　原　かのん（2年）
▽学校対抗総合の部　2位
▽学校対抗トラックの部　2位

第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会南九州地区予選大会（6月13～16日）〈えがお健康スタジアム〉
【男子】
▽100m　7位　藤本　晴斗（3年）
▽200m　2位　藤本　拓真（2年）
　6位　藤本　琉偉（2年）
▽4×400mR　2位　功能・久武・植野・中野

第53回熊本県高等学校学年別陸上競技大会（8月30日）〈えがお健康スタジアム〉
【男子】
▽1年200m　1位　城戸　大和（1年）
　2位　南條　健人（1年）
▽2年200m　4位　入江　璃旺（2年）
▽1年3000m　1位　杉山　力斗（1年）
　2位　冨田　蒼輝（1年）
　6位　佐藤聡太郎（1年）
▽2年3000m　1位　田中　允紳（2年）
　2位　久保　和寛（2年）
　3位　吉村　伊織（2年）
　6位　藤本　晴斗（3年）
▽2000m　7位　藤本　晴斗（3年）
▽1年3000mSC　1位　水本　優翔（1年）
　2位　米村　和真（1年）
▽共通4×100mR　3位　瀬川・入江・城戸・吉良
▽共通4×400mR　1位　永野・入江・南條・吉良

ボクシング部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日～6月2日）〈熊本県立総合体育館〉
【男子】
▽バンタム級　1位　中島　吏貴（3年）
▽ライト級　3位　福田　光聖（3年）
　3位　中田　陸登（2年）
▽学校対抗　2位
▽ビン級　2位　立山　優理（3年）
　3位　府内　亜美（3年）
▽ライトフライ級　2位　中根　咲希（3年）
▽フライ級　1位　富田　結羽（3年）
▽バンタム級　1位　坂井　理紗（3年）
▽フェザー級　2位　長野　実緒（2年）
▽ライト級　1位　山口　結奈（3年）
　2位　長野　実緒（2年）
▽学校対抗　2位
【女子】
▽ビン級　2位　立山　優理（3年）
　3位　府内　亜美（3年）
▽ライトフライ級　2位　中根　咲希（3年）
▽フライ級　1位　富田　結羽（3年）
▽バンタム級　1位　坂井　理紗（3年）
▽フェザー級　1位　山口　結奈（3年）
▽ライト級　3位　山口　結奈（3年）
▽バンタム級　5位　坂井　理紗（3年）

全国高等学校ダンスドリル選手権大会（8月13日）〈京王アリーナTOKYO〉
▽SONG／POM部門　Large編成　1位

全九州高等学校ダンスドリル選手権大会（6月21日）〈福岡県かすやドーム〉
▽SONG／POM部門　Large編成　1位

ラグビー部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日・6月1・3日）〈熊本県民総合運動公園〉
▽女子団体　2位

全九州高等学校体育大会（6月21日）〈熊本県民総合運動公園〉
出場

野球部

第34回高校野球熊本市内大会（8月19～30日）〈藤崎台球場他〉
2位

男子バレーボール部

第48回高校1年生バレーボール大会（8月30・31日）〈城南総合スポーツセンター〉
3位

ハンドボール部

熊本県高校1年生ハンドボール競技大会（8月21・22日）〈山鹿市総合体育館〉
1位

熊本県高等学校総合体育大会（5月30日～6月2日）〈山鹿市総合体育館〉
1位

全九州高等学校体育大会（8月21・22日）〈ウイングまつばせ〉
3位

全国高等学校総合体育大会（8月3～8日）〈岡山県きびしアリーナ〉
ベスト16

バスケットボール部

熊本県高等学校総合体育大会（5月31日～6月2日）〈菊陽町総合体育館〉
1位

全九州高校体育大会（6月21・22日）〈長崎県立総合体育館〉
ベスト8

全国高等学校総合体育大会（7月27日）〈ジップアリーナ岡山〉
1回戦敗退

国民スポーツ大会第45回九州ブロック（8月30・31日）〈長崎県立総合体育館〉
4位

自転車競技部

熊本県高等学校総合体育大会〈熊本競輪場〉（5月17～19日）
▽1kmタイムトライアル　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽スプリント　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽ケイリン　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽ロードレース　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽ポイントレース　1位　岩﨑　太誠（3年）
▽チームスプリント　1位　岩﨑・小林・正木
▽女子スプリント　1位　安達　心晴（3年）
▽女子ケイリン　1位　安達　心晴（3年）

全九州高校体育大会〈長崎県立総合体育館〉（7月22～24日）
▽男子団体　2回戦敗退
▽女子団体　2回戦敗退

全国高等学校総合体育大会〈ジップアリーナ岡山〉（8月15～17日）
▽男子個人100kg級　出場　東　大遼（2年）
▽男子個人100kg超級　出場　高倉　菖悟（3年）

熊本県高等学校総合体育大会〈菊陽町総合体育館〉（5月30・31日）
▽個人の部　1位　島村　昇冴（3年）
　3位　中村文次郎（3年）

金鷲旗高校柔道大会〈福岡市照葉積水ハウスアリーナ〉（7月22～24日）
▽男子団体　2回戦敗退
▽女子団体　2回戦敗退

全国高等学校総合体育大会（8月15～17日）〈ジップアリーナ岡山〉
▽男子個人100kg級　出場　東　大遼（2年）
▽男子個人100kg超級　出場　高倉　菖悟（3年）

熊本県高等学校総合体育大会〈菊陽町総合体育館〉（5月30・31日）
▽個人の部　1位　島村　昇冴（3年）
　3位　中村文次郎（3年）
▽団体の部　1位

剣道部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30・31日）〈菊陽町総合体育館〉
▽個人の部　1位　島村　昇冴（3年）
　3位　中村文次郎（3年）
▽団体の部　1位

水泳部

熊本県高等学校総合体育大会（5月30・31日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽総合　1位
▽50m自由形　1位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　1位　福味　昂一（3年）
　2位　森本　将嗣（3年）
　3位　福田　悠雅（1年）
　6位　古屋心太朗（2年）
▽400m自由形　2位　森本　将嗣（3年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽1500m自由形　1位　森本　将嗣（3年）
　2位　松島　瑞（2年）
　3位　福田　悠雅（1年）
▽100m平泳ぎ　8位　坂井　優日（2年）
▽200m平泳ぎ　4位　坂井　優日（2年）
▽100mバタフライ　1位　林田　陽音（3年）
　3位　中村　英太（2年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
　4位　中村　英太（2年）
▽200m個人メドレー　6位　古屋心太朗（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　福味・藤原・内田・藤本（2年）
▽メドレーリレー4×100m　2位　林田・松島・松永・藤原

第46回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月1日）〈アクアドームくまもと〉
▽200m背泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽100m平泳ぎ　1位　大田　朱莉（2年）
▽フリーリレー4×100m　1位　中村ひかり・奥村・大田・朱莉
▽フリーリレー4×200m　1位　中村ひかり・奥村・大田・朱莉
▽100m背泳ぎ　7位　中村ひかり（3年）
▽200m背泳ぎ　6位　中村ひかり（3年）
▽100m平泳ぎ　6位　大石　桜（1年）

熊本県選手権水泳競技大会兼国民スポーツ大会予選会（6月28・29日）〈アクアドームくまもと〉
【男子】
▽50m自由形　2位　福味　昂一（3年）
▽100m自由形　2位　藤本　拓真（2年）
　4位　藤原　琉誠（3年）
▽200m自由形　2位　藤原　琉誠（3年）
▽400m自由形　1位　福田　悠雅（1年）
▽1500m自由形　1位　福田　悠雅（1年）
▽100m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
▽200m背泳ぎ　1位　林田　陽音（3年）
▽100m平泳ぎ　1位　福田　悠雅（1年）
▽200m平泳ぎ　1位　中村　英太（2年）
▽100mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200mバタフライ　1位　松永　蒼生（3年）
▽200m個人メドレー　1位　松永　蒼生（3年）
▽フリーリレー4×200m　1位　藤原・藤本・内田・福味
▽メドレーリレー4×100m　2位　林田・松島・松永・藤原

バドミントン部

熊本県高等学校総合体育大会（5月24日）〈熊本県立総合体育館〉
▽男子ダブルス
　5位　興呂木日向（3年）
　5位　佐川　陽（3年）

第79回国民スポーツ大会陸上競技熊本県最終予選大会（7月12・13日）〈えがお健康スタジアム〉
【男子】
▽少年A100m　5位　藤本　晴斗（3年）
▽少年A300m　6位　入江　璃旺（2年）
▽少年A5000m　1位　久保　和寛（2年）
　3位　田中　允紳（2年）
　4位　中川　陽琉（3年）
▽少年A3000mH　2位　吉良創太郎（2年）
▽少年B3000m　3位　古沢　崇翔（1年）
▽少年B走幅跳　3位　佐藤聡太郎（1年）
▽少年共通100mJH　4位　吉良創太郎（2年）
　永野　宏弥（2年）
【女子】
▽少年A100m　4位　功能　朱莉（3年）
　5位　中野　亜美（3年）
▽少年A300m　6位　角　百々花（3年）
▽少年A800m　3位　岡村　空（2年）
▽少年A3000mH　1位　大石　桜（1年）
▽少年B100mH　2位　愛甲まゆり（1年）
▽少年共通100mH　3位　角　百々花（3年）
▽2年3000m　1位　田中　允紳（2年）
　2位　久保　和寛（2年）
　3位　吉村　伊織（2年）
　6位　藤本　晴斗（3年）
▽2000m　7位　入江　璃旺（2年）
▽1500m　6位　田中　允紳（2年）
▽5000m　久保　和寛（2年）
▽100mH　1位　角　百々花（3年）
　4位　岩本実乃里（1年）
　6位　植野紗代子（2年）
▽4×400mR　功能・久武・大石・中野
▽3000mSC　新立　峻（3年）
▽4×100mR　角・中野・大石・功能

第80回全国高等学校陸上競技対校選手権大会南九州地区予選大会（6月13～16日）〈えがお健康スタジアム〉
【男子】
▽100m　7位　入江　璃旺（2年）
▽1500m　6位　田中　允紳（2年）
▽5000m　6位　久保　和寛（2年）
▽100mH　7位　中野　亜美（3年）
▽200m　7位　中野　亜美（3年）
▽400mH　2位　角　百々花（3年）
▽4×400mR　6位　植野紗代子（2年）
▽4×100mR　1位　角・中野・大石・功能
▽走幅跳　3位　岩本実乃里（1年）
▽100m車椅子　2位　原　かのん（2年）
▽学校対抗総合の部　4位
▽学校対抗トラックの部　4位
【女子】
▽100m　3位　桜（1年）
　5位　亜美（3年）
▽200m　2位　亜美（3年）
　6位　桜（1年）
▽400mR　朱莉（3年）
　5位　功能　咲月（3年）
▽800m　6位　岡村　空（2年）
▽100mH　1位　角　百々花（3年）
　4位　岩本実乃里（1年）
　6位　植野紗代子（2年）
▽4×400mR　吉良・藤本・南條・入江
▽学校対抗総合の部　4位
▽学校対抗トラックの部　1位

チアダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 九州大会（6月29日）〈福岡市立体育館〉
▽SONG／POM部門　Large編成　1位

第70回九州吹奏楽コンクール熊本支部予選（7月24日）〈熊本県立劇場〉
銀賞（中高合同）

第38回熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール（8月19日）〈ウイングまつばせ〉
▽マリンバ　金賞　西村　心葉（3年）
▽スネアドラム　銀賞　西谷　祐輝（2年）
▽テナーサックス　銀賞　中竹　真生（1年）

吹奏楽部

第29回九州高等学校吟詠剣詩舞コンクール（7月19日）〈明日香美容文化専門大学校〉
▽独舞女子（最優秀賞）　1位　本田すみれ（2年）

吟詠剣詩舞